



横尾中だより

校訓「自立」 〈学校スローガン No Challenge, No Chance〉

R5. 12. 19

第46号

発行者
長崎市立横尾中学校
校長 小浦 末浩

門松づくり

昨年度は「地域貢献の日」を設定し、日曜日を登校日にして実施した「門松づくり」を、今年度は元に戻し、新旧生徒会役員とボランティアの生徒の協力で実施しました。

この門松づくりを中心となって指導されてきた育成協の酒井さんは、前日（16日）の午前中から材料の調達のためにあちこちに行かれていたとのこと。前日準備のための集合時間13時前には、だいたいの準備は終わられていました。

前日の準備で、たいへんだったのは竹切りとその運搬でした。昨年度までの3年間は長崎外国語大学の竹を利用させてもらいましたが、今年は虹が丘のまめの木保育園さんにお世話になり、竹をいただきました。急斜面で注意しながらの作業となりました。また、雨の中、私も何度も転び、作業着が泥だらけになりながらの作業となりました。PTAの方々にも作業にご協力いただきました。雨の中で、たいへんでした。ありがとうございました。

また、この日は、ブリックホールで、長崎市PTA連合会のみらい・ふえすたも開催されていました。こちらの方に参加されたPTAの皆様も、たいへんお疲れさまでした。

さて、そんな前日があつての翌日、17日（日）。雪がちらつく中での門松づくりとなりました。冒頭の三浦会長さんの話では、今回で25回目になるのではないかとのことでした。地域の伝統行事になっているなと感じたところです。

新旧生徒会役員とボランティアで協力してくれた生徒の合計22名が集まってくれました。酒井さんからは、門松の由来や使用されている材料の理由について話があり、その後、のこぎりやなたの使い方について指導もありました。

1基ごとに、数名の大人の方々につき、アドバイスやできないところは生徒といっしょになって作業を行っていただきました。2時間程度で4基、門松をつくりあげることができました。今年の生徒は、センス良く門松を仕上げてくださいました。

現在、横尾中学校の正面玄関に1対（2基）と、横尾小学校にも1対（2基）が設置されています。機会があれば、出来栄をご覧ください。これで、気分も一新し、新年が気持ちよく迎えられそうです。

市内の小中学校の中でも、長年継続して「門松」を設置している学校は少なく、本当に地域の皆様、PTAの皆様のご協力に感謝しております。

また、この日は10時から「学びの道」の整備作業にも取り組んでいただきました。これも雪の寒い中、PTAの方々にたい

へんな中、作業をしていただきました。おかげさまで手が回っていなかった学びの道の除草作業と、花の苗植え作業ができました。生徒も気持ちよく登下校できるのではないかと考えております。地域の方々も、花々に目をやる方もおられ、地域の方にも喜ばれています。年末の忙しい中、作業に当たっていただき、感謝いたしております。

今年の地域行事はこれで終了となります。来年も、1月3日（水）には、横尾地区の「二十歳のつどい」（於：ふれあいセンター）や、1月7日（日）には鬼火だき（於：秋寄公園）が計画されております。鬼火だきには、正月飾りなども燃やしますので、いらなくなったお正月飾りなどは、当日秋寄公園にお持ちください。これも新春の行事として、地域の方々が継続して実施されている地域行事です。

